



日に新しくき眼もて



令和3年3月8日発行

令和2年度 後期学校自己評価 まとめ

日頃より学校の教育活動にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。後期学校自己評価アンケートへのご協力ありがとうございました。結果と今後の取組について報告いたします。

1 生徒による学校自己評価(授業に関連して)

「授業では、その時間に何を学ぶのか意識して学習に取り組んでいる」、「授業の中で、友達とペアやグループなどで考えたり教え合ったりして、理解を深めたりできるようになったりすることがある」について、前期と同様に、肯定的な回答をした生徒の割合が大きくなっています。このことから、自ら課題を解決する学習や、生徒同士の関わりの中で考えたり、理解を深めたりする授業が概ねできていると考えます。今後も、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策をしながら、生徒同士が学び合う授業づくりに取り組みたいと思います。

また、「授業でわからないことやうまくいかないことを、先生に質問したり相談したりできる」、「授業の最後に、その時間に学習したことやわかったことなどをまとめたり振り返ったりしている」については、前期よりも肯定的な回答をした生徒の割合が若干大きくなりました。指導改善の方向として、教師が机間指導やT・T指導において、より積極的に生徒に声をかけて、分からない点を質問しやすい雰囲気をつくるよう心がけました。各教科においては、1時間や単元でのまとめのあり方を検討し、まとめの時間をできる限り確保し、学習カード等の工夫をすることで、生徒自身が何を学んだかをしっかりと自覚できるようになりました。生徒が主体となって考え、理解を深める授業とするために教師はどのような工夫をしたらよいかを今後も考え、実践していきたいと思います。

2 生徒による学校自己評価(生活に関連して)

3学年とも、ほとんどの項目に対して肯定的な回答をした生徒の割合が8~9割となっており、充実した学校生活となっていることがうかがえます。1学年では、「無言清掃に集中して取り組んでいる」、「仲間とともに歌声を響かせている」について、肯定的な回答をした生徒の割合が他の項目より高くなっています。2学年では、「夢や目標をもち、その達成に向け努力している」、「仲間とともに歌声を響かせている」について、肯定的な回答をした生徒の割合が他の項目より高くなっています。3学年では、「自分のわがままをおさえ、正しい判断をしようとしている」、「無言清掃に集中して取り組んでいる」について、肯定的な回答をした生徒の割合が他の項目より高くなっています。今後も、自ら伸びようとする生徒をいっそう伸ばす支援を心がけていきたいと思います。

3 保護者による学校自己評価

学力向上に関する質問に対しては、1学期よりも2学期のほうが、「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が大きくなっています。「授業で分からないところを質問したり、相談したりしやすそうだ」では、「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が50%程度と課題であり、生徒が「わかった、できた」と実感できるような授業改善をさらに進めていきたいとします。具体的には、単元や1時間の振り返りの工夫をさらに各教科で充実させていきたいと考えます。記述欄では、「個別の支援など対応をしていただき感謝している。」「大変だと思いますが生徒の状況に応じて声をかけて話をよく聞いてほしい。」などの声をいただいています。これらをしっかりと受け止め、今後も個に寄り添ったきめ細かな指導をより充実させ、学力の定着が実感できるようにしていきたいとします。

学校目標に関する質問に対しては、1学期よりも2学期のほうが、「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が大きくなっています。また、どの質問に対しても、「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が70～80%程度と、肯定的にとらえていただいています。「お子さんは夢や目標を持ちその達成に向け努力している」にかかわって学校では、総合的な学習の時間などでのキャリア教育をさらに充実させたいと考えています。課題を追究する中で互いの意見を発表したり、考えを深めたりすることによって自己肯定感や達成感が高まるようにしたいとします。この点については、小布施町コミュニティースクール運営会議でも、ぜひ積極的に進めてほしいとのご意見をいただきました。地域を中心とした人・もの・ことから学ぶ場を設定し、様々な経験を通して多様な価値に触れる機会を充実させていきたいとします。

学校運営について、「教育方針をわかりやすく伝えている」や「人権の尊重を意識するよう育てている」については、2学期のほうが「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が大きくなっており、80%程度となっています。生徒の健やかな成長のために、さらに保護者のみなさんと協力しながら共に取り組んでいきたいと考えます。「家庭との連携を適切に行っている」や「学校の設備は学習環境の面で充実している」については、2学期のほうが「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が若干小さくなっています。生徒一人一人に寄り添い、個別の課題にしっかりと対応していくようにしたいとします。また、生徒や保護者の方との懇談を大切にし、課題解決のためにもともに考え合っていくようにしたいと考えます。また、学校設備等学習環境については、教育委員会へ相談し順次対応いただいているところです。今後も見直しをもって計画的に整備を進めてまいります。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、様々な行事等が予定通りには進まない状況であり、生徒や保護者の皆さんにはその都度ご理解ご協力をいただき対応いただきました。本当にありがとうございました。今後も生徒たちのためにお力添えをお願いいたします。

以上のように、保護者の皆様からいただいたご意見を生かして、学校運営の改善に努めてまいります。ご多用のところ、アンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。